

21 世紀の生命を育む

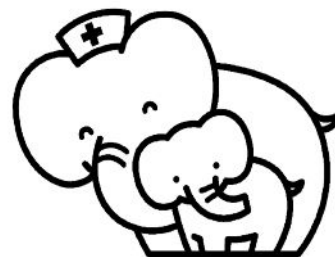
はしもと小児科

〒954-0112 見附市上新田町 449-7

TEL 0258-61-2400, 予約専用 61-2401, FAX 61-2402

<http://www.mynet.ne.jp/hasimoto/>

院長 橋本尚士:新潟大学医学博士,日本小児科学会認定小児科専門医,日本アレルギー学会認定アレルギー専門医



手足口病



<手足口病とは>

乳幼児のあいだで流行する夏かぜの一種です。コクサッキーウイルス A 群 16 型およびその変異型、エンテロウイルス 71 型により起こります。ほかの季節に流行することもあります。手のひら、足のうら、口の中に小さな水ぶくれができる病気です。お尻や膝にできることもあります。熱はないか、あっても微熱程度で済みます。手足の水ぶくれは通常痛くありませんが、口の中にできると痛くて食べられなくなることがあります。手足口病の原因ウイルスは数種類あるので、何度でもかかることがあります。ごくまれに髄膜炎を併発して、熱が続いたり、吐いたりすることがあります。また、ごくごくまれに脳幹脳炎と肺水腫を合併することがあります。



<治療>

自然に治るので、特別な治療は不要です。熱やのどの痛みがある場合には、くすりを処方します。



<家庭で気をつけること>

- (1)食べ物:口の中が痛いときは、しみないものを与えましょう。熱いもの、塩味や酸味の強いもの、かたいものは控えましょう。
- (2)入浴:熱がなく元気なら、入れてかまいません。



<こんなときはもう一度診察を>

- (1)口の中が痛くて水分をあまり飲まないとき。
(脱水であれば点滴が必要です。)
- (2)高い熱が出た時。呼吸が早く浅くなったり、咳込みが激しい時。
- (3)吐いてぐったりしているとき。



<保育所・学校>

保育所や学校には、たとえ発疹があっても、本人さえ元気なら、行ってかまいません。発疹が消失して症状が軽快しても、数週間は便にウイルスが排泄し続けますので、症状のある期間だけの登園、登校禁止は全く意味がありません。日本小児科学会からこの旨の勧告が出されています。



<脳幹脳炎および肺水腫を合併する手足口病>

1998 年から 2000 年にかけて、マレーシア、台湾、大阪で、脳幹脳炎および肺水腫を合併する特殊な手足口病の流行があり、死亡例がありました。原因ウイルスはエンテロウイルス 71 型で、神経親和性の高い株でした(すべてのエンテロウイルス 71 型がこのような症状を起こす訳ではありません)。マレーシア、台湾では多数の死亡があり、数週間にわたって保育園やプールが完全に閉鎖されました。万が一、このような特殊な手足口病が発生した場合には、同様の処置が必要です(中途半端に登園、登校禁止をしても全く意味がありません)。